

新選組を訪ねて(島原・壬生)

距離:約3km 所要時間:約1時間30分 (見学時間は含まず)

激動の幕末動乱期の京都・壬生の地に産声を上げた、今も人気の新選組ゆかりの地を巡ります。当時の文人たちのサロンの要素も果たしていた「揚屋」(角屋)では、敵も味方も同じように宴会をしていたそうです。移りゆく時代の中で激しくも静かに散っていった武士よりも武士らしい隊士に思いを馳せながら歩いてみましょう

おすすめウォーキングコース

西本願寺⇒島原「輪違屋」「角屋」⇒壬生寺⇒八木邸(壬生屯所跡)⇒旧前川邸⇒光縁寺

コース上のおすすめスポット



西本願寺

壬生の前川邸・八木邸が手狭になったため、新選組の新たな屯所



島原大門

島原は京都唯一の幕府公認の花街で、大門は島原のシンボル。



光縁寺

今も多くの新選組隊士が眠る知恩院の末寺。本堂には位牌が安置されている

ちょっぴり情報

最寄り駅	行き：市バス「西本願寺前」 帰り：市バス「四条大宮」・阪急大宮駅
現地問合せ先	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 角屋おもてなしの文化美術館 (☎075-351-0024) ◆ 壬生寺 (☎075-841-3381) ◆ 新選組壬生屯所旧跡・八木家 (☎075-841-0751) ◆ 光縁寺 (☎075-811-0883)
現地情報	<ul style="list-style-type: none"> ・壬生狂言(節分、春、秋の3回定期公開 壬生寺) ・庭園が「京都市指定名勝」に指定(角屋) ・「角屋」2階座敷の見学は「特別公開」として1階と併せて要予約(開館期間をご確認ください)
MAP	ウォーキングマップ(PDF 0.9M)
情報提供	京都SKY観光ガイド協会(☎075-221-1516) (令和2年4月1日現在)